



修了生のみなさん、お元気でしょうか。『日研生 E-だより』第5号をお届けします。この9月15日に2009年度の日研生は修了式を終えました。そして10月には新しい日研生が11名来ました。皆さんの時と同じようにオリエンテーションを行い、10月には日本語・日本文化学類生の歓迎パーティーが開かれました。そして、12月には今年も千葉県房総の村や成田山に出かける予定です。

2009年度担任の朴先生と副担任の谷口先生からのメッセージです。

朴先生

お元気ですか？

筑波大キャンパスはちょうど紅葉でカラフルに染められ始めました。昨年の今頃、このキャンパスをいきいきと動きまわっていたみなさんの姿を思い出してみました。いつも笑顔で「やってみよう」という意欲に満ちていましたよね。帰国前、お忙しい中、私の部屋をわざわざ訪ねて、プレゼントしてくれた花束やお手紙、ありがとうございました。そして、帰国してからもメールを送ってくれてありがとうございました。院生になってつくばでもっと勉強したいという将来の計画を持っている人も何人かいますね。みんなみんな歓迎します。おたよりください。



谷口先生

こんにちは。2010年10月からの日研生担任の谷口孝介（たにぐち こうすけ）です。前回日研生の担任をしたのが1997年でしたので、13年ぶりの担任ということになります。その間にも日研生科目「日本の文学」を担当したり、修了論文の指導などで、多くの日研生の皆さんと出会ってきました。わたしの専門が日本古典文学ですので、多くの日研生にとってちょっと縁遠い分野かなと思いますが、煙に巻かれたようなようで、それでもなんとか理解しようとしている皆さんの授業中の顔を今でも鮮明に記憶しています。

今年の日研生は、ベトナム3名、ブラジル2名、韓国、マカオ、香港、インドネシア、エストニア、ロシア各1名の計11名のメンバーです。つくばは11月に入ってそろそろ冬空になってきました。恒例になっています1泊2日の研修旅行（日本語・日本文化実験実習）の準備を始めるころです。この旅行を機会により親密度が高まり、互いの考えなども理解し合えるのではないのでしょうか。ファイナルレポートへの助走もこれを機に切りたいものです。どうかこれからも皆さんの後輩たちに暖かいまなざしを送ってください。また皆さんの近況などお伝えくださると幸いです。



「日研生の修了論文に関する調査」について

日研究生修了生の皆様、こんにちは。2007年度の日研究生担任を務めました石田です。

今年の3月に、「日研究生 E-だより」のメーリングリストを利用して「日研生の修了論文に関する調査」を行いました。この調査の目的は、筑波大学で課している修了論文について皆様の経験や考えを参考に、日研究生の研究ニーズを明確にすることでした。2003～2008年度の日研究生（合計65人、送信可58人）のうち、23人からご回答いただきました。ご協力、ありがとうございました。

以下は、日研究生修了論文研究の目的と、帰国後の活用に関する結果です。あなたはどれに当てはまるでしょうか。

● 修了論文の研究は、どのような目的で行いましたか。（複数可）

(a)	帰国後の卒業論文の材料を作るため	8
(b)	大学院進学に向けて、研究の仕方を身につけるため	11
(c)	筑波大学日研究生プログラムの修了条件を満たすため	12
(d)	その他： （例）興味があったことについて調べたかったから （例）一度は書いてみたかった	3

● 帰国してから、修了論文の研究をどのように活用しましたか。（複数可）

(a)	修了論文の内容を大学の授業などで発表した	7
(b)	修了論文の内容を卒業論文に発展・拡大した	6
(c)	修了論文の研究を大学院の研究に発展・拡大した	6*
(d)	特に活用していない	6
(e)	その他： （例）大学院に進学しようと決めたきっかけになった （例）大学で行われた研究大会に提出した（四年生の時）	6

*内 進学者4人

そのほかに論文テーマの決め方、論文作成で苦労したこと、修了論文研究の指導体制などについても聞きました。調査結果の詳細にご興味のある方は、石田までご連絡ください。なお、この調査の結果の一部は、2010年3月に金沢大学で開催された「日研究生教育改善研究会」と、2010年10月に行われた日本語・日本文化学類教員のFD（ファカルティ・ディベロップメント）研修会で報告しました。日研究生教育の今後の改善につながっていけば良いと思います。

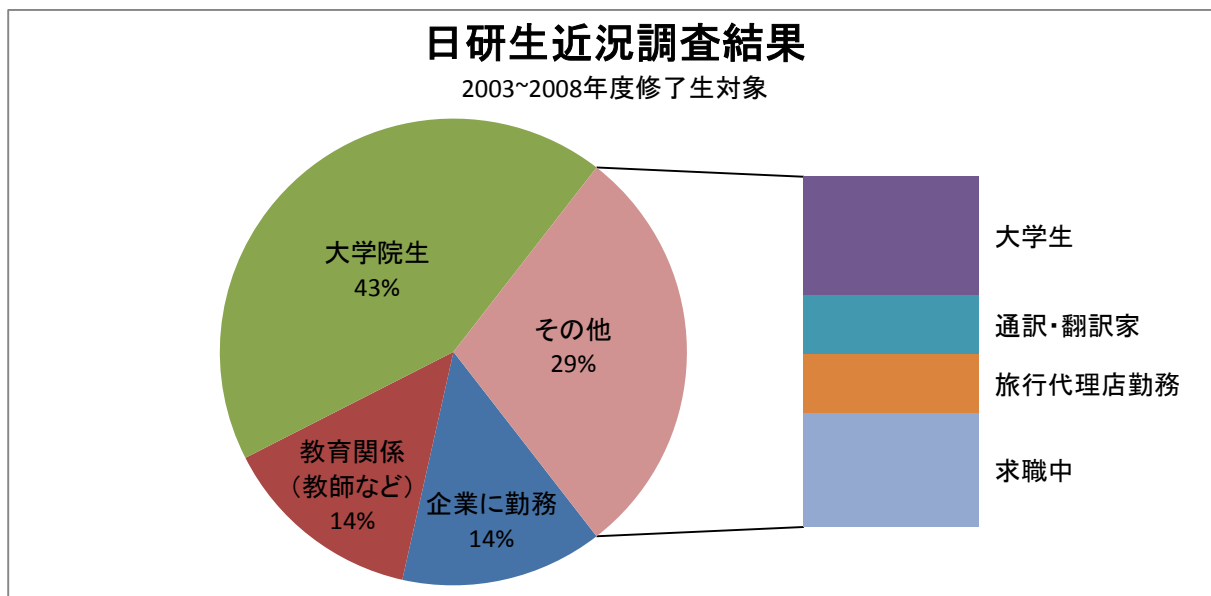
2007年度日研究生担任 石田プリシラ

ishida.priscilla.fn@u.tsukuba.ac.jp



日研生近況調査結果について

今年の10月に行いました修了生の近況調査の結果をお知らせします。この調査は2008年度までの日研生を対象に行ない、65人中21人の方からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。



「日研生 E-だより」も5号になりました。皆さんからのおたよりをお待ちしております。



2009年度 日本語・日本文化実験実習

日本語・日本文化学類

Email: kimura.mayumi.gf@un.tsukuba.ac.jp

aoyagi.makiko.ft@un.tsukuba.ac.jp

※メールアドレスが変更になった際にはお知らせください。